



本通信は、当センターへの相談ケースや、皆様にご提供したいことなど、様々な内容について掲載しています。



2023年
秋号

北海道立向陽ヶ丘病院

認知症疾患 医療センター

☎ 093-0084

北海道網走市
向陽ヶ丘1丁目5番1号

TEL/FAX(直通)
0152-44-0500

お問い合わせ、ご相談の際は、上記までお電話をお願いします。



Dementia Disease Medical Center

DDMC communication

北海道立向陽ヶ丘病院 認知症疾患医療センター通信

研修会開催のお知らせ

11月10日(金)14時より、認知症に関連する薬の研修会を開催する予定です。講師は当院薬剤師です。お申し込み等の詳細は、当院ホームページをご覧ください。

ご存じですか ヘルプマーク ヘルプカード

ヘルプマークとは、義足を使用している方、精神障害のある方、難病の方、妊娠初期の方、または、認知症の方など、外見からは援助等を必要としていることが分からない方がいます。そうした方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマークです。

ヘルプカードは、いざというときに必要な支援や配慮を周囲の人をお願いするためのカードで、ヘルプマークに記入できない個人情報や、より詳細な情報を記入することができます。

認知症の人が活用している実例がある市町村は全国で3%程度(「認知症の人のヘルプカードの活用実態に関する全国調査」認知症介護研究・研修東京センター、2022)にとどまっているようです。

交通機関やスーパー、銀行など地域の人たちの中で、認知症かもしれない人を見守り助けたいと思っている人が増えています。一方で、声をかけていいのか、どう関わったらいいのかかわからず躊躇している人もいます。このマークやカードを本人が使うことで応援しやすい環境が生まれます。

カードには以下のようなことを具体的に書くとよいとされています。

- どこに出かけたいか(帰りたいか)
- 何を望んでいるか
- それをかなえるためにどんな不便があるのか
- 何をかわってほしいのか 等



ヘルプカードには、ヘルプマークと同様に緊急連絡先や必要な支援内容を記載できます。個人情報を書いて人目に触れやすい場所に装着するストラップ式のヘルプマークとは違い、ヘルプカードは手帳やバッグなどに収納しておけます。

ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。

お問い合わせは、お住まいの市町村障がい福祉担当窓口へ。

